



新聞圖會 第 24 号

大阪雜喉場元魚問屋
 松川八十兵衛と云者茶道ニ
 長ト古器目利も巧者故
 明治の始百六十年手づね
 の茶碗を求秘藏せし此頃
 手元がへチやふ成り室八身の
 指替賣んと思ふふといふ平人
 こそハ得買まると狂言方ある
 徳叟以頼る名も高島屋の右團治と
 猶鶴屋と小見せしる処百六十金にかり
 品といふの時世が違へばとてツサカ拾田とも
 云われまると名を惜むの俳優たち奇麗
 小断云ひられせん方無くて外へ拂ふ
 満二田と聞あり八十兵衛日夜三金を
 扱ひし如く俄に扱ひし詰り古茶のやう
 小氣扱がーチヤツやむちやくを去出
 濃茶薄茶の分ち無くにちり上りも出来ぬて茶を
 全快覚束無しと是元來茶道の本意を失ふとい
 驕を事と一人を茶ふせしチヤクタクを天の戒め
 此ふおとん悲るべし

おとん悲るべし

